

OSAKA MEN'S CHORUS

RECITAL

MON. NOV.30 1970
OSAKA KOSEINENKIN KAIKAN

CONDUCTOR
TAKASHI HAYASHI



帆船は、今日も猛り狂う嵐におのれをゆだね、
勇ましき30人の荒くれ男は、力強き舵さばきで怒涛に向かう。
あの太陽のさんさんと降る大海原を目指し………。
君の処女航海はしゃにむな旅であり、今、如何なる障害が待ち
うけているであろう。
酒を汲み、肩を組む30人のますらおたちにそれのわからうはず
もない！
あるはただすばらしき語らいと楽しき宴の歌のみ！
VIVA OMC！

音楽之友社会唱曲懸賞募集最優秀作品
やなせたかし作詞 矢田部宏作曲
男声合唱のための組曲

人生はんざい／

好きな風景
ふしぎな都会で
ひるつた涙
人生はんざい
ジャマスルナ・フルツ

今年の音楽之友社募集の最優秀作品を、関西における一般、小編成の最優秀グループが歌うことになりました。OMCへのやなせたかし氏の手紙「もともと、私は、これからのお音楽会はもっと視覚化すべきだ」という考え方です……。全く同感です！」

海の男たちの歌

SPANISH LADIES
(スペインの女たち)
STORMALONG JOHN
(荒くれジョン)
A-ROVING
(漂流)

BOUND FOR THE RIO GRANDE
(リオ・グランデに向って)
WHUP! JAMBOREE
(ワップ・ジャンボリー)

OSAKA MEN'S CHORUS 1・八番という言い過ぎです。十七番くらい。今夜はイギリスのものばか
り5曲あつめました。

見よ！この男たちの実態

	経験	走れコータロー	走れコータロー	雀	歌のうまさ	歌のうまさ	脚	酒	好	長	き	き	うまさ	うまさ	歌	麻	走れコータロー	走れコータロー
足立誠也	1	4	3	0	5	5	5	5	5	く	く	く	く	く	く	く	く	く
尾崎納	3	4	3	5	5	5	5	5	5	木村昌弘	3	2	3	3	0	△	△	△
清水博行	2	5	3	4	5	5	5	5	5	鈴木真	3	3	3	2	○	○	○	○
砂場晃	2	3	3	3	3	3	3	3	3	二宮一男	2	3	3	4	3	3	3	5
早草寛	4	0	2	3	0	0	2	3	0	法林昭二	4	4	5	5	5	0	0	0
南野三郎男	3	3	4	4	0	0	2	3	0	横山文和	5	0	3	5	0	0	0	0
林	10	5	0	0	0	0	0	0	0	石津佳彰	3	0	2	±5	1	△	△	△
川端勇	3	5	0	0	0	0	0	0	0	坂下義紀	0	3	5	5	2	0	0	0
佐藤泰宣(在東京)	2	3	2	2	2	2	2	2	2	山口勝明	2	4	3	2	0	0	0	0
浜野督藏	3	2	1	4	1	4	1	4	1	早田賢二	2	1	2	3	0	0	0	0
平田孝	3	2	3	3	0	0	0	0	0	山下八郎	3	5	3	4	5	○	○	○
渡辺義博	1	2	4	3	5	5	5	5	5									

何とか題をつけようと思いつかなかつた独り言 林節

ボクは、音楽、特に合唱が本当に好きなのかどうか、自分でもよく解らない。もう16年もこれに足を突込んでいるのだから、嫌いなはずは決してないが、いわゆる合唱気狂いではないつもりだし、いわんや、合唱運動みたいなことを出来そうにはない。時折、挫折感に襲われてもOSAKA MEN'S CHORUSだからこそ、これからも続いていくのではないかと思う。

といえば、何だか消極的にきこえもあるがそういうではない。ボクは、この愛すべき荒くれチームに腊けているというか、身を投げ出している。こんな恋文めいたことを、メンバーたちに読ませるもの変だし、他人様の目にふれさせせるのも妙だがOSAKA MEN'S CHORUSが、ただ合唱好きな少年たちの、春にも葉にもならないような集まりでないということは、大なり小なりみんな思っているし、誰よりもボクが、願い、叱咤激励し、折りたさえるのだ。ムダが多く、遊びの多い、合理的で堂々としたチームでありたいと。

相愛女子大学合唱部 唱部

私達合唱部は発足以来3年、部員も30余名とかわいらしくまとまり、やっと小さな花を咲かす程に成長しました。そしてその小さな花をお見せすることが11月16日に出来ました。地盤もようやく固きました。そして去る11月16日には発足以来の最大の目標であった第一回演奏会を開くことができました。また今宵は光栄にもOSAKA MEN'S CHORUSの皆様の賛助で出演させて頂きます。これぞ契機にわざなりともクラブが充実し成長することを願っています。

この3年間、他大学のコーラス部の賛助出演、大学祭でのクラブ発表、その他のアルバイト出演などのステージを経験してきましたが、皆の心が一つになつて、女声合唱特有の透明で繊細なハーモニーが創り上げられた時、ある種の征服感、身震いにも以た感動が私達を陶酔状態にさせたものです。音楽大学に学んで、加えて、コーラスを楽しむ理由はその辺りにあるかもしません。

今、めまぐるしく変動している社会の中にあるからこそ、私はコープを通じて季節の息吹きや人の心を歌いながら、常に心をつなごませるような歌声を創り上げようと努力しております。「音楽」、文字通り音を楽しむことを追求しようとして励んでいます。今後とも相愛女子大学合唱部をどうぞよろしくお願い致します。

第2部

OMC 黒書 '70

	脚 長	酒 好	脚 長	歌 の う まき	麻 雀	走 れ コ タロ ン	経 験
5 (それで飯を食え るか、身をもくす つか)から0(もううち よつと何んとかしろ よ)までの評価です。	く き	く き	く き	雀	雀	雀	経験
荒木謙	3	2	?	?	3	0	0
荒田利男	2	3	3	5	0	5	5
岩間克昭	5	2	3	3	4	3	3
梅田徹	2	2	2	2	0	0	0
岡本義尚	1	4	3	5	3	5	5
柏原正邦	2	5	3	3	5	×	5
勝敏洋(在阪)	2	5	3	5	3	5	2
筒井彰	3	4	4	3	5	◎	4
藤川文義	5	5	5	5	5	5	5
井上仁	4	3	3	2	0	0	3
岩井爽(在東京)	3	3	4	6	0	0	3
宇野健一	2	3	2	4	0	0	4
金森晴一	2	3	0	4	10	△	10
久保毅(在東京)	2	3	3	4	5	5	5
小沢洋治	5	2	3	3	2	2	2
空尾弘	3	2	3	4	0	3	3
武内博資	2	3	3	4	0	3	3
羽山野隆(在香港)	5	4	5	3	0	2	2
平野綱則	3	4	3	3	0	○	3
吉田真一	3	3	4	5	3	3	3
和田昭夫	5	2	3	4	3	注	5

パート・バカラックの華麗なる世界

DO YOU KNOW THE WAY TO SAN-JOSE
(サンホセへの道)

THIS GUY'S IN LOVE WITH YOU
(ディス・ガイ)

I SAY A LITTLE PRAYER
(小さな祈り)

RAIN DROPS KEEP FALLIN' ON MY HEAD
(雨に濡れても)

「華麗なる世界」とは大げさに出たもの。シンコペーションの渦の中、2週間で練習とは、実にきついものでした。相愛のお嬢さま方、ほんとうにありがとうございました。

なつかしい日本の歌

牧場の朝
村祭
砂山
里の秋
海

「近ごろの子どもはどんな歌うたうの?」「そりや“やめて!コーダロー”よ」「なぜなの?」
「時代の流れよ西川さん」「そりやあ、きいたセリフよ横山さん」
ともあれ、OSAKA MEN'S CHORUSは、これからも古い日本の歌をうたい続けます。

練習日誌

某月某日 YTVで歌の指導をすることにになった。
暇なを各パート2人ずつ出しておいた。「教えられた人が気の毒に」とは、出られなかつた者のボヤキ。

夏の海水浴、小豆島に男女計25人集合、A、Y、Kの3人は朝から小豆島カントリーへ六堀りに、残りは本来の目的である泳ぎにいく。夜6キロはなれた喫茶店に、歩いてコーヒーを飲みに。途中は暗い道、女性と2人だけで皆と、はなれて歩くのもいる。来年の春には仲人探ししなければならないかもしねぬ。
なお来年は全日空をチャーターして、八丈島へ泳ぎにいくことを基本的に決めた。

某月某日

月曜日 OMC練習、火曜A.T.Kと麻雀、水曜H.A.Oと酒飲みに、木曜H.O.W.T.と法事クラブでリサイタル・プログラムを徹夜で校正、金曜会社で仕事、土曜・B.C.S.と新阪急ホテルであつて、明日の菊花賞対策を練る。
2-4、3-4、を購入。日曜日特別練習の合間に、お好み焼き屋の、のれんから首をつつこみTVを見る。練習より熱が入る。予定通りバッチャー。

月曜日、ティジンの聲からは、派手なカラー・シャツとネクタイの若年たちがゾロゾロ出てくるようになつた、勿論、その日の会社はご想像の通り。全社をあげてのキンセンペーンである。月曜に練習しているOMCも、月曜の今夜、これを試してみた。



25回開催企画コンサート一覧の部(A)最後発行